



会報『すえひろ』45号
(平成25年10月号)
10万人の

選 択

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

今月号の項目

① 九月定例議会

- ・ 議案二十七件 全て可決 認定
- ・ 平成二十五年度補正予算 可決
- ・ 平成二十四年度一般会計決算
四特別会計決算 全て認定

② 九月議会一般質問

- ・ 子宮頸がんワクチン接種の
勸奨中止の波紋 副作用の実態
- ・ 終末期医療 延命治療について
健康保険は適応外
延命治療を希望するか、いなか。

③ アイデア商品開発、

発明・発見を夢見る会 開催

④ 「いじめ対策の相談」

⑤ 中央公民館、文化センター内へ移転
使用料決まる

⑥ 原八郎のルーツ「歩」三十一回
(九州に支店を出して失敗)

市政報告会のお知らせ

十一月二日(土) 十時より
中央公民館 三階 学習室六
参加自由。お待ちしております。
夢見る会は十三時より開始。

① 九月定例議会

鎌ヶ谷市多文化共生推進センター、市民活動推進センター、男女共同参画推進センター、きらり鎌ヶ谷市民会館、きらりホール、学習センター、青少年センター設置及び管理条例の制定は全て可決。

弓道、アーチェリー場建設 前倒し

来年四月完成予定、工事費八千五百万円ほとんど国庫支出金で賄い市の支出金は八万一千円だけです。旧南部小学校の跡地に新設。施設内に更衣室、共用の談話室を設ける。

② 九月議会一般質問

子宮頸がんワクチン接種の
勸奨中止の波紋

ワクチン接種により全国的に重篤な副作用があらわれ、厚生労働省は六月十四日をもって、積極的に勸奨を行うことを一時的に取りやめ。このワクチンは多数の問題点を抱え、安全性に疑問が投げかけられ、全国一斉の無料接種は危険であると判断。私も二十二年十二月定例会で子宮頸がんワクチンの一斉接種に、ただ一人、反対をいたしました。

疑問点を指摘し、それを追及し、見送るべきと主張しましたが、残念ながら、私の危惧した通りに副作用の被害者が出てしまいました。

疑問点は、接種年齢が小学六年から高校一年生の女子であることや、HPVウイルスは自己免疫で消滅させることが出来ること、それが可能であること、ワクチンの有効性は万全でなく、百を超えるウイルスのうち16型、18型には有効であるが、日本人は52型や58型が多く、総合的に評価され

ているワクチンの効果は30パーセント程度であること。子宮頸がん検診を合わせてやる必要があるとの見解である。ワクチンが出来てから7年ほどしかたっていないこと、日本の薬事審議会での審査期間が異常に短く、申請から十三ヶ月で承認されたこと。普通、審査期間は五年ほどかかるのになぜ十三ヶ月で承認されたのか。海外で副作用の報告が多数あるにもかかわらずマスコミも取り上げず実施に向けて異常の速さで突き進んだこと。

九月七日の朝日新聞の記事に「接種後中高生一七一人に支障」子宮頸がんワクチン副作用四割改善されずとの見出しで文部科学省の調査結果が載っていました。接種後に痛みやけいれんを訴え、中学、高校を長期間休むなど、学校生活に支障が生じた女子生徒が昨年度一七一人いたことが文部科学省の調査で分かった。四割は今も改善が見られない。文部科学省は都道府県教育委員会に対して、こうした生徒への配慮を求め、ワクチンの副作用をめぐる被害実態がはっきりしない中で文部科学省がこうした調査をしたのは初めて。調査結果によりまずと一七一人中、学校を三〇日以上休んだのは五一人「足に力が入らず歩行困難」「発熱や関節痛がひどく入院」「激しい頭痛や手足の震えで登校できない」などの症状で、一年以上休んだ生徒も一八人いた。今も状況に改善が見られない生徒は六九人になった。との調査結果。

子宮がん検診の受診率の向上が不可欠で、ワクチン接種より予防に有効です。子宮頸がんは突然発症するものではありません。運悪くHPVウイルスが潜伏し、自己免疫で消滅させることが出来ず、一〇年ほど経過した場合、まず「前がん症状」が現れます。それから五年ほどしてガンに進行します。

ですから二年ないし三年に一度、子宮がん検診を受診すれば早期発見ができ、治療が可能で、ほぼ100パーセント防げる性質のガンなのです。



会報『すえひろ』45号
(平成25年10月号)
10万人の

選 択

はら はちろう
原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

欧米での検診率は70から80%ですが日本では30%にも達しません。鎌ヶ谷市の検診率は20%以下です。意識の差かも知れませんが、男性医師に検診を受けることへの恥ずかしいとの意識が強いのではないのでしょうか。

女性の産婦人科医をたくさん増やすか、法律上の問題もありますが、特別に研修を受けた女性の看護師さんが検診できるように法改正をして検診率の向上をさせることが子宮頸がんの予防の為に必要です。国に陳情するなど、改善を求めるべきです。

・終末期医療 延命治療について。

人生の終わりをどのように迎えるかという問題はあまり考えたくないと思っている方が多いと思われまます。誰にでも死は必ず訪れるものです。

元気で生活し、やるべきことをやり終え、思い残すことなく、また寝込むことなく、この世をされたら幸せです。いわゆるピンピンポッキリ(PPP)です。それが理想ですが、誰しもそうはいきません。どのような終末期を迎えるかが大きな問題です。

中には事故や災害に遭い、この世を去る人もいます。脳血管障害や心臓疾患により植物人間状態になり、延命治療を受けている患者様もたくさんいます。意外と知られていないのが、延命治療には、保険適応がないということです。差額ベッド代や嚥下治療での栄養剤の注入や、酸素マスクなどは治療行為でなく保険適応はないとの事です。延命治療に入ってしまったら、途中で、器具を外すことはできません。殺人罪に問われるからです。

このことを知ったうえで、元気な内に、家族、親せきと延命治療をするのか、しないのかを決めておくべきなのです。本人の

意思が最優先されます。器具を付けてしまつてからでは間にあいません。差額ベッド代だけでも一月三十万円はかかります。家族で話し合いを持ちましょう。質問や回答や詳細については、市政報告会においでください。

③発明・発見を夢見る会

十一月二日午後一時より三時
中央公民館三階学習室六

地域振興を目指して、鎌ヶ谷に新しい製品、技術の開発を目指す勉強会。ベンチャー企業を志す人。また、企業応援者、企業経営者も大歓迎。知恵を持ち寄り新製品を作り出しませんか。参加自由。連絡先 四四五・三四六六 原八郎

④「いじめ相談室」

いじめにあつていらっしゃるあなた。私もいじめられた経験者です。話を聞くことはできます。連絡ください。原八郎まで。

⑤文化センター来年四月完成

公民館も移動。使用料金変わらず
イトーヨーカドーは
十一月末オープン



「文化センターきらりホール、中央公民館と11月末オープン予定のイトーヨーカドー」

「歩み」原八郎のルーツ 第三十一回
『九州に支店をだし、失敗』

昭和四十一年夏、早稲田大学四年の時に北海道層雲峡でレンタサイクルを開業し、大盛況を経験した。大学を卒業し二年目に、層雲峡でのレンタサイクルは定着。さて、冬はどうするかの課題が出来ました。三年目に向けて支店を出す準備に取り掛かった。

北海道の大沼国定公園と十和田湖の奥入瀬渓流でのレンタサイクルを準備。従業員の利用から、地元との折衝で忙殺された。開店初期は私自身現場に張り付き地元の人たちと交流をし、軌道に乗せるべく努力をして、従業員に任せて、層雲峡に戻り頑張る。

大沼公園はそれなりの成績でしたが、奥入瀬渓流の焼山から子ノ口への乗り捨てのコースで無理があったのかもしれないが、二人の従業員のうち一人が盲腸をこじらせ腹膜炎を起こして入院。八月の最盛期を休業しなければならず、シーズンを棒に振ってしまった。翌々年、十勝沖地震が起き奥入瀬渓流で崩落事故があり不通になり営業をあきらめました。

四十三年の冬期間の従業員の雇用の問題があり、九州に支店を出すことにした。熊本県の天草五橋と宮崎県日南海岸に出店。九州は暖かい所であるのと、市場調査もせずに出店。天草五橋は玄海灘からの季節風と共に雪がたびたび降る地形でした。日南海岸は店の位置、コースの無理があり、全くの失敗であった。一年で引き揚げました。大変、勉強になりました。(次号に続く)